

全国海運組合連合会
第289回理事会議事録

日時 平成22年6月2日(水) 12:00~14:10

場所 神戸市・生田神社会館・4階会議室

出席者 理事41名(別紙名簿の通り)

議題

平成22年春 叙勲・褒章受章者報告並びに記念品贈呈式

○叙勲・旭日中綬章受章者 相談役(前会長) 四宮 勲殿

○褒章・黄綬褒章 " 前副会長 埜野廣文殿

1. 理事並びに船主部会・輸送部会委員交代の件
2. 平成21年度事業報告書及び財産目録・貸借対照表及び収支決算書承認の件
3. 平成22年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件
4. " 徴収賦課金分担(案)承認の件
5. 第52回通常総会等開催要領の件
6. 平成22年度事務局研修会開催要領の件
7. その他

議事

定刻、過半数の理事の出席を得て本理事会は適法に成立、定款の定めにより小比加会長が議長となり開会挨拶があり、本日の理事会は、来る6月11日開催の通常総会に上程する決算関係、予算関係の議案について慎重審議を願うため開催したと述べ、次いで、事務局は、平成22年春の叙勲及び褒章受章者として四宮相談役(前会長)には旭日中授章を、又埜野前副会長には黄綬褒章を受章されたことの報告をした。

この後、小比加議長より、両氏に内規による記念品を授与し、両氏からの謝辞の後、議事に入った。

議題1. 理事並びに船主部会・輸送部会委員交代の件

本件について事務局は、九海連からの交代願いについて以下の通り説明した。

(敬称略)

① 理事の交代内容

(新任候補者)

(旧任者)

いわさきいおり

岩崎 庵 大旺海運(有)代表取締役

田崎久光

すえしげてつお
末繁哲雄 宇部興産海運(株)代表取締役社長 木許作太

② 船主部会委員の交代内容

(新任候補者) (旧任者)

くわづるみちお
桑霍美智男 (株)ジェイ・ケイ・ライン取締役 三原啓嗣

③ 輸送部会委員の交代内容

(新任候補者) (旧任者)

にしたきつねひろ
西瀧常博 西瀧海運(株)代表取締役 神田征一郎

この後、議長が本件を諮った処、異議無く承認された。この後、岩崎理事より就任挨拶があり、次いで木許前理事・副会長より退任挨拶があった。

ついで議長より先刻開催の正副会長会議において、木許前副会長の後任副会長に新たに九海連会長に就任された原田勝弘氏(事業会社名:芙蓉海運株式会社代表取締役社長、加入業種:運送業、貸渡業、所属地区組合:鹿児島内航海運組合)を選任することと致したので本理事会でご同意を頂きたいと述べると共にこれまで木許氏が担っていた以下の全海運及び総連合会人事について交代手続きを取りたいとの提案があり、審議の結果、異議無く承認された。

[全海運関係]

- 船主部会担当副会長
- 環境安全委員会担当副会長
- 船員対策検討委員会担当副会長

[総連合関係、*本件6月18日開催の通常総会及び理事会へ交代手続きを行う]

- 理事
- 運賃用船料委員会委員長
- 基本政策推進小委員会委員
- (財)内航海運安定基金評議員

この後、原田副会長より就任挨拶が述べられた。

議 題 2. 平成21年度事業報告書及び財産目録・貸借対照表及び収支決算書承認の件

本件については、議長指示を受け事務局は、大要以下の通り説明した。

[I] 平成21年度事業報告書の件

本件、事前に資料を送付していることから不明の点につきご指摘があればご説明したいと述べたが、特になく説明を省略した。

[II] 平成21年度収支決算書・財産目録・貸借対照表の件

本件、大要以下の通り説明した。

(1) 平成21年度収支決算書

①平成21年度収入の部・合計額1億2,496万円 予算比83万円の収入減

○収入の部科目大要

科目：賦課金は、下期に賦課金徴収額の再調査を行いこの結果、事業者の減少及び加入トン数の減により113万円の収入減、暫定手数料は、老齢船等の申請増加により34万円増、総連合会事業収入は、暫定事業手数料の増加により21万円増及び雑収入は、利息収入等の減により24万円の減。

以上により、収入合計1億2,496万円に対予算比83万円の収入減となった。

②平成21年度支出の部・合計額1億2,496万円 予算比83万円の支出減

○支出の部科目大要

科目：会議費は、会議回数の増加（前年度比9回の増加）により105万円の支出増、事務局研修会補助費は、事務局研修会の参加者減及び会員組合事務局長会議を年度計画2回開催の処、1回に止まったことから100万円の減、役員委員旅費で209万円の減、通信費で18万円減、印刷費で35万円減、事務局旅費で会議回数増加で91万円増、報酬・給料・賞与は、6名に対する臨時的な退任役員慰労金の支給発生により51万円増、厚生費は、21万円減、雑費は、構造改善引当金繰入等により157万円の増、及び予備費は、予算計上額100万円は支出せず減。

以上により支出合計1億2,496万円に対予算比83万円の支出減となった。

尚、構造改善引当金の推移は、以下の通りである。

期首残高	21,491,753(円)
繰入額	1,765,275
期末残高	23,257,028

(2) 財産目録

資産合計	2億3,203(万円)
負債合計	1億4,952
正味財産	8,251

(3) 貸借対照表

借方合計	2億3,203(万円)
貸方合計	2億3,203

*尚、貸方合計の内、基金として8,251万円を含む。

この後、監事を代表して狩野監事より5月21日実施した業務並びに会計監査の結果については、いずれも適正且つ適法であった旨報告があった。

ついで、本件について議長が意見を求めた処、前年度に比して会議回数が増加（前年度比9回増）しているが役員委員旅費が予算比209万円の支出減の理由について質問があり、事務局より会議回数増加であるも全て旅費支給会議では無く、回数と旅費とは、連動していないと説明した。

この後、議長が本件を諮った処、異議無く承認された。

議 題 3. 平成 2 2 年度事業計画並びに収支予算（案）承認の件、並びに議題 4.
平成 2 2 年度徴収賦課金分担（案）承認の件

本件については、議長より両案とも直接関連があるので一括して審議を願うとの発言の後、事務局は、議長指示を受け大要以下の通り説明した。

(1) 平成 2 2 年度事業計画（案）について

事業計画（案）については、これまで通り総務委員会、正副会長会議及び三部会長の意見を折り込み立案したものであり、前年度との比較においては、21年度の事業項目「緊急不況対策の策定と早急なる実施」については、老齢船対策の実施決定に伴い削除したこと及び、「物産品直販事業の推進」については、21年度をもって本事業を廃止することに伴い削除したこと。尚、これまでの「運賃並びに用船料の修復と適正化推進と公正な市場構築」については、「…と公正な市場構築」の字句を文意不明のため削除したこと。又、平成 2 2 年度新規事業項目として「カポターゲット制度堅持の活動推進」を掲げたことを説明した。

(2) 平成 2 2 年度収支予算（案）の概況について

① 予算規模については、対前年度予算比 1 2 0 万円減の 1 億 2, 4 6 0 万円を計上した。

② 収入の部大要

科目：賦課金については、前年度予算比 3 4 0 万円（決算比 2 2 0 万円減）の収入減、全海運暫定事業手数料は、前年度比 1 1 0 万円減、総連合会事業収入は、最低保証額を計上（今年度が交付最終年度、20年度 21年度及び 22年度の 3ヶ年度）、及び雑収入には、今年度の収入不足に対して構造改善引当金取り崩し額として 3 9 4 万円を含んでいる。

以上により予算額として 1 億 2, 4 6 0 万円を計上した。

③ 支出の部大要

科目：会議費は、決算額の 1 0 0 万円減の 9 0 0 万円を計上、事務局研修会補助費は、これまでの事務局研修会費用に加え、会員組合事務局長会議を年度内 2 回開催を 1 回とし対予算比 5 0 万円減の 3 0 0 万円を加算計上、役員・委員旅費は、決算額を横すべりとして 1, 0 5 0 万円を計上、通信費は、決算数字を尊重し対前年度予算比 2 0 万円減の 3 2 0 万円計上、印刷費は、決算数字を尊重し対前年度予算比 4 0 万円減の 2 6 0 万円を計上、事務局旅費は、前年度予算額の 3 8 0 万円を計上、報酬・給料・賞与は、事務局員補充費用として現給与額に 2 4 0 万円増の 3, 5 4 0 万円を計上、又予備費は、これまでの 1 0 0 万円計上の半額 5 0 万円を計上。

以上により予算額として前年度予算比 1 2 0 万円減の 1 億 2, 4 6 0 万円を計上した。

(3) 平成 2 2 年度徴収賦課金分担案承認の件

本件、対前年度（平成 2 1 年度）との比較内容は、以下の通りである。

○平成 2 2 年度賦課金年額	6, 7 5 9	(万円)
○ " 2 1 年度 "	6, 9 8 6	
○対前年度増減額	収入減 2 2 7	

この後、議長より両案について意見を求めた処、出席理事より役員委員・旅費に

ついて対前年度予算比200万円減としているが、開催会議の減少を図るなど対応しなくても良いのか、との発言があり議長は、決算数字を尊重し予算計上しており、あえて開催会議の減少を講ずることなく対応出来ると考えていると回答した。

又、総連合会の会計書類についても全海運と同様詳細な明細書の作成を求む旨発言があり、議長より総連合会へ申し入れるとの発言があった。

更に、全海運からの送付書類について経費削減等のためメール送信を望むとの発言があり、議長より全海運事務局からも同様の要望があるが、未だ理事全員のメール機器が整っていない現状から各位に同機器の整備協力方の要請があった。

この後、議長は、両案を一括して諮った処、異議無く承認された。

議 題5. 第52回通常総会開催要領の件

本件、事務局は、これまで通常総会及び新年理事会は昼間に開催してきたが、理事各位からの要望を受け、午後に開催することとしたと述べ、以下の通り説明した。

- ①会議名称 第52回通常総会
- ②開催日時 平成22年6月11日(金) 16:00~17:00
- ③開催場所 東京都・ホテルルポール麹町
- ④提案議題 第1号議案 平成21年度事業報告書及び収支決算書・財産目録
・貸借対照表承認の件
- 第2号議案 平成22年度事業計画(案)並びに収支予算(案)承認の件
- 第3号議案 平成22年度徴収賦課金分担(案)承認の件
- 第4号議案 その他

(備考) 総会終了後、17:00より来賓を迎えての懇親パーティを開催する。

この後、議長より今般のパーティの来賓については、他の四組合の出状先をも参考にこれまでより人数を絞った案内をしているとの発言の後、意見を求めた処、来賓の肩書きと名前が分かるようお願いしたいとの発言があったが、経費等を考慮しリボンの色で役所、友好団体が分かるようにすることで了承された。

議 題6. 平成22年度事務局研修会開催要領の件

本件事務局より平成22年度の事務局研修会開催方針について大要以下の如く説明した。

- 日 時 平成22年10月29日(金) 14:00~17:00
- 場 所 京都市・全日空ホテル
- 研修内容 諸規定等周知徹底及び質疑応答・意見交換
- 研修対象 所属組合・支部事務局員
- 交通費補助 片道経路普通運賃及び要宿泊者には、旅費規程の半額6,000円補助
- 予算計上額 250万円

この後、議長が本件を諮った処、異議無く了承された。

議 題7. その他

(1) 大型フィーダー専用コンテナ船及び暫定措置事業認定船舶の代替建造
(孫船)問題について

本件、事務局より本問題については、去る5月19日開催の総連合会政策委員会及び翌20日の総連合会理事会で決定されたものであると前置きし決定内容について資料にもとづき説明した。

尚、大要以下の通りである。

① 大型フィーダー専用コンテナ船の取り扱いについて

本問題について、総連合会は、大筋以下の通り取りまとめた。

(i) 大型フィーダー専用コンテナ船の建造納付金単価は、建造1対象トン当たり24,000円とする。

* 全海運の考え、@15,000円

但し、既存の外航船舶を転用して使用する場合は、理事会決定日から5年間に限り、納付金は、不要とする。

* 全海運の考え、環境面を考慮し転用船の10年以内の船齢制限を設けるべし。

(ii) 大型フィーダー専用コンテナ船の船型は、2,500対象トン以上とする。

* 全海運の考え、6,000トン以上

(iii) フィーダー用コンテナ以外のコンテナを積載する場合は、内航臨時投入申請を認める。

* 全海運の考え、反対、外航コンテナに限定するため臨時投入申請等の措置は、必要ない。

② 暫定措置事業認定船舶の代替建造(孫船)問題について

本問題については、現在行政刷新会議等において、「暫定措置事業の早期終了」が提起されておりこの様な状況下で納付金減額制度に係る規程改正申請しても納付金収入を減少させ、事業の早期終了に逆行するとの誤解を受けやすく公取委等の理解が得難いことから、総連合会として適当な時期にあらためて検討することとした。

* 全海運の考え、この運びで了承。

この後、議長より政策委員会当日の様相について概要次の通り説明した。

全海運は、5月11日緊急理事会を開催し、総連合会から検討方の要請のあった納付金単価、船型等について検討を願った処である。しかしながら5月19日政策委員会は、当日開催される外航海運検討会への対応のため結論ありきの会議であり、会議の進め方及びプロセスに憤懣やる方ない心境にある。今後ギクシャクすることにもなるだろう。又、同検討会の開催も事前に案内もなく、総連合会の取りまとめ内容にしても不満だらけであり各位には、お詫び申し上げる次第だ。

今後は、バルクへの対応も控えており今後この様なことがないように対応してゆく、との発言があり本議題を閉じた。

(2) 全海運・今後の会議予定

本件、議長より資料の説明があった。

これをもって議長は、本理事会を終了すると述べると共に、来る11日開催の通常総会には円滑なる議事運営の協力方要請があり、又、本日の議事録署名人として岩井理事、高木専務理事を指名し、謝辞の後14:10閉会を宣した。

以上

全 国 海 運 組 合 連 合 会
第 2 8 9 回 理 事 会 出 席 者 名 列
(平成 2 2 年 6 月 2 日)

理 事・会 長(議長)	小比加 恒 久	理 事	岡 田 俊 夫
“ 副会長	雜 喉 平三郎	“	井 下 光 一
“ “	木 許 作 太	“	井 村 博
“ “	藤 井 肇	“	坂 崎 誠 一
“ “	寺 岡 洋 一	“	杉 本 敏
“ 専務理事	高 木 信 男	“	蔵 本 由紀夫
“	澁 田 政 盛	“	岡 本 信 也
“	池 田 謙 一	“	向 江 清 良
“	岩 井 榮 三	“	冲 本 新 圭 介
“	松 田 紀 道	“	吉 本 圭 正 樹
“	串 田 素 宏	“	東 谷 菜 春 文
“	飯 田 節 男	“	河 菜 幸 長
“	河 合 重 則(代:八木國臣)	“	松 尾 幸 直(代:児玉 尚)
“	金 尾 雅 行(代:網谷吉博)	“	齐 藤 通 弘
“	藤 原 浩	“	原 田 勝 啓
“	川 中 健 二	“	日 向 雅 彦
“	和 佐 信 孝	“	松 本 雅 夫
“	加 藤 榮 一	“	池 崎 富 弘
“	塚 本 博 行	“	上 野 益 庵
“	小 林 道 明	“	岩 崎 榮 仁(委任状)
			比 嘉 榮 仁(委任状)

以 上 4 1 名

内 訳 : 本 人 出 席 3 7 名
代 理 人 出 席 3 名
委 任 状 出 席 1 名

議 事 録 署 名 人

議 長 (会 長) 小 比 加 恒 久
専 務 理 事 高 木 信 男
理 事 岩 井 榮 三

全国海運組合連合会
第52回通常総会議事録

日 時 平成22年6月11日(金) 16:00~16:20

場 所 東京都千代田区平河町2-4-3
ホテル・ルポール麹町・3階・マーブル

総議決権数43 総会員数 18
出席議決権数43 出席会員数 18

内訳、本人出席 15
代理人出席 1
委任状出席 2
合計 18

出席会員名	代表者名	組合員数	議決権数
北海道内航海運組合	澁田政盛	35	1
東北内航海運組合	湯村健介	18	1
新潟内航海運組合	池田謙一(委任状)	13	1
関東沿海海運組合	小比加恒久	77	2
千葉県内航海運組合	松田紀道	79	2
横浜地方海運組合	串田素宏	29	1
静岡県内航海運組合	飯田節男	15	1
中部沿海海運組合	寺岡洋一	60	1
東海内航海運組合	河合重則(代、八木國臣)	82	2
富山石川内航海運組合	金尾雅行	6	1
大阪海運組合	藤原浩(委任状)	54	1
日本沿岸曳船海運組合	川中健二	123	2
兵庫海運組合	加藤榮一	95	2
和歌山県海運組合	小林道明	17	1
四国地方海運組合連合会	雑喉平三郎	273	5
中国地方海運組合連合会	藤井肇	374	8
九州地方海運組合連合会	原田勝弘	491	10
沖縄地方内航海運組合	比嘉榮仁	37	1
合計18会員		1,878	43

提案議題

- 第1号議案 平成21年度事業報告書及び収支決算書・財産目録・貸借対照表承認の件
- 第2号議案 平成22年度事業計画(案)並びに収支予算(案)承認の件
- 第3号議案 平成22年度徴収賦課金分担(案)承認の件
- 第4号議案 その他

定刻、事務局より出席会員が定足数に達し、本総会は、適法に成立した旨、報告の後、小比加会長の挨拶があり、次いで事務局から定款第31条の定めにより本総会の議長選任を諮った処、満場一致で議長に関東沿海運組合・理事長の小比加恒久氏が選出された。

小比加氏は、直ちに議長席に着き就任挨拶の後、議事に入った。

(議 事)

議 題

- 第1号議案 平成21年度事業報告書及び収支決算書・財産目録・貸借対照表承認の件

議長より、本件については、去る6月2日開催、第289回理事会において慎重審議の結果、承認を得ている処であると前置きの後、事務局は議長の指示を受け資料を要約説明した。

次いで、監事を代表して中澤監事より5月21日実施した業務・会計監査の結果何れも適法且つ正確に処理されている旨の監査報告があった。

この後、議長は本案の承認方を提案した処、原案の通りで出席会員代表全員の異議がなく承認可決された。

- 第2号議案 平成22年度事業計画(案)並びに収支予算(案)承認の件
並びに、

- 第3号議案 平成22年度徴収賦課金分担(案)承認の件

議長は、両案については相互に関連があるので一括して提案したいと述べ両案共6月2日開催の第289回理事会で慎重審議の結果、承認を得ていることから事務局に資料の要約説明を指示した。

この後、議長より賦課金の徴収単価は、前年度同様の徴収単価であることを付言し、両案一括して承認方を提案した処、原案通りで出席会員全員の異

議がなく承認可決された。

第4号議案 その他

本件については、議長より、当会及び総連合会の人事につき緊急を要する場合、その取り扱いを執行部に一任頂きたいと提案した処、出席会員全員の異議がなく承認可決された。

これをもって第52回通常総会の議案審議が全て終了したので、議長は議事録署名人として議長の他、横浜地方海運組合・理事長・串田素宏氏及び千葉県内航海運組合・理事長・松田紀道氏を指名し謝辞の後、16:20閉会を宣した。

以上

平成22年6月11日

関東沿海	代 表(議 長)	小比加恒久
北 海 道	〃	澁田政盛
東 北	〃	湯村健介
新 潟	〃	池田謙一
千 葉 県	〃	松田紀道
横浜地方	〃	串田素宏
静 岡 県	〃	飯田節男
中部沿海	〃	寺岡洋一
東海内航	〃	河合重則
富山石川	〃	金尾雅行
大 阪	〃	藤原 浩
沿岸曳船	〃	川中健二
兵 庫	〃	加藤榮一
和 歌 山	〃	小林道明
中 海 連	〃	藤井 肇
四 海 連	〃	雑喉平三郎
九 海 連	〃	原田勝弘
沖縄地方	〃	比嘉榮仁
		以上18会員

前記議事の正確であることを証するため議長及び議事録署名人は署名する。

議事録署名人

関東沿海海運組合理事長（議長） 小比加恒久

横浜地方海運組合理事長 串田素宏

千葉県内航海運組合理事長 松田紀道